

県政だより

2014年11月発行

発行・池田はじめ事務所

〒699-0612

出雲市斐川町出西 2833

TEL 0853-73-7720

FAX 0853-73-7721



今年に入っても、豪雨に台風・火山活動と、様々な自然災害が起こってしまいました。被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。成し得る限りの防災対策を採ったとしても、自然の脅威に抗する力を、われわれ人類は十分に持ち合わせていません。発生した被害に迅速に対応できるよう、日頃からの準備が重要であり、お互いをよく知る地域内での絆・地域力が大きな力になるのではと思っています。**池田はじめは、地元斐川を愛し、わかっています。**皆様が安心して、なおかつ将来に希望をもって暮らせる生活環境が提供できるよう、**斐川の為に、**県政の充実に努めます。**島根県議会議員 池田 一**

池田はじめ 平成26年の主な仕事

- ① 斐川上島線の計画推進。…今年度終了予定の阿宮工区に引き続き、来年度以降のトンネル及び武部工区の計画が、地元の皆様のご理解とご協力を得て進められることが決定しました。長年の地元の皆様の要望が、ようやく実現に向けて推進されます。今後も県の工事予算確保に尽力します。
- ② 斐伊川土手(上出西工区)の工事推進。…今まで御不便をおかけしていた斐伊川土手(上出西工区)のかさ上げと、県道改修工事(全長2.2km)が、国交省と島根県によって進められることになり、工事が始まりました。スムーズな工事の推進に尽力します。
- ③ 宍道湖西岸堤防及び十四間川堤防の補強かさ上げ改修工事の推進…沈下が進み、漏水など長年ご心配をかけていました宍道湖・十四間川堤防補強、かさ上げ工事が、地元の皆様のご理解・協力を得て、着実に進んでいます。一日も早い工事の完成に尽力します。

土砂がたまり藻や水草が生い茂る新建川のしゅんせつ



写真は新建川と羽根川の合流地点。河川に土砂が溜り、藻が生い茂ったままだと、洪水時に機能しません。早急に水害に備える必要があります。地元の皆さん、土木委員さんのご努力もあり、溜った土砂撤去が始まります。その他、崩落した万蔵寺川の護岸整備、後谷川の矢板護岸の整備、斐川支所北の高瀬川と隣接道の整備など、これからも地元の皆様のご理解・ご協力を得て、順次進めていきます。

津和野豪雨災害復旧状況視察

昨夏の豪雨災害の状況を視察しました。一日も早い復旧が望まれます。復旧工事が早く進むための制度改革を、県でも進めています。

池田はじめ 本年、防災に 関わるその他の 仕事

中国地方治水大会

本年度国の中国地方の河川事業費は約380億円。ピーク時の1/3です。厳しい財源の中、住民の皆様と一緒に防災の意識を高める必要があります。



出雲・斐川の発展が島根県を支える

斐川の「産み育てる力」に着目

島根県は本年4月、ついに人口70万人を割ってしまいました。このまま、人口移動が続いていくと2040年には、50万人を割ってしまうかもしれません。増田氏を座長とする日本創成会議のレポートで、若年女性人口が50%以上減るとされる自治体名が公表され、県内では19市町村中16市町村が該当。しかし、斐川を含む出雲市の減少率は低く、数少ない人口増加エリアとして注目され、発展が続いています。現在、知事を中心に、その力をより強くし、県全体に波及していけるよう、数々の取り組みを進めています。



斐川の発展は、出雲・島根の発展

空の玄関出雲空港があり、島根の入口とも言える斐川。高速斐川インター出入口には、長年の懸案だった斐川上島線のトンネル工事が決まり、完成後は人の移動・物流が更にスムーズになると思われます。そして、来年度には出雲市によって開発された新たな工業団地も分譲開始され、企業誘致が順調に進めば、将来の雇用増が期待されます。まさに斐川は宍道湖中海圏域の中心地帯であり、斐川の発展は出雲の発展、しいては島根全体の発展に繋がろうとしているのです。

しかし、他地域、特に県西部のインフラ整備は県の重要課題です。例えば平成20年以降の県内誘致企業65社のうち58社は高速道路沿線地域に進出しています。高速道路が繋がっていない地域は取り残され、島根は他の過疎県と同様、都市部開発最優先の国の施策の犠牲となったのです。未開通の県内高速道路網を早急に繋ぐこと。それは県経済・地域の発展に繋がり、人口減少の歯止めになります。私は地元選出市議さんと一緒に、斐川・そして島根のインフラ整備に全力を尽くします。

出雲は医療・看護・介護の先進地

昨年の入院生活で一番感じたのが、病院で勤務されている看護師さん、介護士さん、そして先生方の勤務の大変さと温かく優しい対応です。出雲は穏やかで優しい人が多いからでしょうか。患者の気持ちに寄り添って接している皆さんの姿を毎日見ている、いやな顔一つせず、変わらぬ姿勢に感心しました。出雲にはご存じの通り優秀な医療機関や医療従事者養成機関が集中しています。これを生かし、当地が先進医療地域である事を大きく内外にアピールできれば、若い力がより集まり、地域の医療が更に充実していくと思います。地域の安全・安心、子供たちの将来の為に、医療施設・教育の充実は願ってもないこと。自らの体験も生かし、島根、特に出雲地域の医療の充実に努めたいと思います。



編集後記

現在、公務が空いた時間を使って、皆様の所にお伺いし、様々なご意見をいただいています。斐川の元気は、活力があつてこそ。各コミュニティセンター（公民館）を中心に、地域の皆様が知恵を出し合っ、地域の繋がりを深めていらっしゃっています。そしてその活力を支える斐川の産業の土台・柱は農業です。昨今の厳しい農業環境打開のために、農業者を代表される振興区長の皆さん、営農組合長の皆さん、大型農家さんたちが、行政、農協、農政会議の皆さんと一体となって地域農業の将来について真剣に考え、議論し、行動されています。県内他に例を見ない前向きな取り組みです。農業振興は、地域活性化の基礎であり、食の安全にも繋がります。子供たちの為に、斐川の将来に繋がる農業の発展に、これからも貢献したいと思います。

皆様のご意見・ご要望を是非お聞かせください

池田はじめ事務所：斐川町出西 2833 電話：73-7720、FAX：73-7721

